

## 運転するときに

# 2

### 2-1. 運転のしかた

運転にあたって .....	132
エンジン（イグニッション）	
スイッチ（キーレス	
アクセス&プッシュ	
スタート装着車）.....	145
エンジン（イグニッション）	
スイッチ（キーレス	
アクセス&プッシュ	
スタート装着車以外）.....	154
オートマチックトランス	
ミッション .....	157
マニュアルトランス	
ミッション .....	164
方向指示レバー .....	167
駐車ブレーキ .....	168
ホーンスイッチ .....	169

### 2-2. メーターの見方

計器類.....	170
表示灯／警告灯 .....	176
マルチインフォメーション	
メーター .....	179

### 2-3. ランプのつけ方・

#### フロントワイパーの使い方

ライティングスイッチ .....	184
フォグランプスイッチ .....	188
フロントワイパー &	
ウォッシャースイッチ .....	189

### 2-4. その他の走行装置の 使い方

運転を補助する装置 .....	192
-----------------	-----

### 2-5. 様々な状況での運転

荷物を積むときの注意 .....	198
寒冷時の運転.....	201

## 2-1. 運転のしかた

# 運転にあたって

安全運転を心がけて、次の手順で走行してください。

### ■ エンジンをかける

→P. 145, 154

### ■ 発進する

#### オートマチック車

**手順 1** ブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを D にする  
(→P. 157)

**手順 2** 駐車ブレーキを解除する (→P. 168)

**手順 3** ブレーキペダルから徐々に足を離し、アクセルペダルをゆっくり踏み発進する

#### マニュアル車

**手順 1** クラッチペダルを踏んだまま、チェンジレバーを 1 速にする  
(→P. 164)

**手順 2** 駐車ブレーキを解除する (→P. 168)

**手順 3** クラッチペダルから徐々に足を離し、同時にアクセルペダルをゆっくり踏み発進する

### ■ 停車する

#### オートマチック車

**手順 1** セレクトレバーは D のまま、ブレーキペダルを踏む

**手順 2** 必要に応じて、駐車ブレーキをかける

長時間停車する場合は、セレクトレバーを P または N にします。  
(→P. 157)

#### マニュアル車

**手順 1** クラッチペダルを踏んだまま、ブレーキペダルを踏む

**手順 2** 必要に応じて、駐車ブレーキをかける

長時間停車する場合は、チェンジレバーをニュートラルにします。  
(→P. 164)

## ■ 駐車する

### オートマチック車

- 手順 1 セレクトレバーは D のまま、ブレーキペダルを踏む
- 手順 2 セレクトレバーを P にする (→P. 157)
- 手順 3 駐車ブレーキをかける (→P. 168)
- 手順 4 キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外  
エンジンスイッチを“LOCK”にしてエンジンを停止する  
キーレスアクセス&プッシュスタート装着車  
プッシュエンジンスイッチを OFF にしてエンジンを停止する
- 手順 5 キーを携帯していることを確認し、ドアを施錠する  
坂道の途中で駐車をする場合は、必要に応じて輪止め<sup>\*</sup>を使用してください。

<sup>\*</sup> 輪止めは車載されていませんので必要に応じて準備しておいてください。

### マニュアル車

- 手順 1 クラッチペダルを踏んだまま、ブレーキペダルを踏む
- 手順 2 チェンジレバーをニュートラルにする (→P. 164)
- 手順 3 駐車ブレーキをかける (→P. 168)
- 手順 4 キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外  
エンジンスイッチを“LOCK”にしてエンジンを停止する  
キーレスアクセス&プッシュスタート装着車  
プッシュエンジンスイッチを OFF にしてエンジンを停止する
- 手順 5 キーを携帯していることを確認し、ドアを施錠する  
坂道の途中で駐車をする場合は、必要に応じてチェンジレバーを 1 速または R にし、輪止め<sup>\*</sup>を使用してください。

<sup>\*</sup> 輪止めは車載されていませんので必要に応じて準備しておいてください。

## 上り坂の発進のしかた

### オートマチック車

- 手順 1 駐車ブレーキをしっかりとかけ、セレクトレバーをDにする
- 手順 2 アクセルペダルをゆっくり踏む
- 手順 3 車が動き出す感触を確認したら、駐車ブレーキを解除し発進する

### マニュアル車

- 手順 1 駐車ブレーキをしっかりとかけ、チェンジレバーを1速にする
- 手順 2 アクセルペダルを軽く踏み、同時にクラッチペダルから徐々に足を離す
- 手順 3 車が動き出す感触を確認したら、駐車ブレーキを解除し発進する

## 知識

### ■ 雨の日の運転について

- 雨の日は視界が悪くなり、またガラスが曇ったり、路面がすべりやすくなったりするので、慎重に走行してください。
- 雨の降りはじめは路面がよりすべりやすいため、慎重に走行してください。
- 雨の日の高速走行などでは、タイヤと路面の間に水膜が発生し、ハンドルやブレーキが効かなくなるおそれがあるので、スピードは控えめにしてください。

### ■ 走行中のエンジン回転数について（オートマチック車）

以下の場合、走行中にエンジン回転数が高くなる場合があります。これは走行状況にあわせてシフトアップの制限、またはシフトダウンの実施を自動的に行うため、急加速を示すものではありません。

- 車両が上り坂、または下り坂を走行していると判断したとき
- アクセルペダルを離れたとき
- カーブを走行しているとき
- ブレーキペダルを強めに踏んだとき

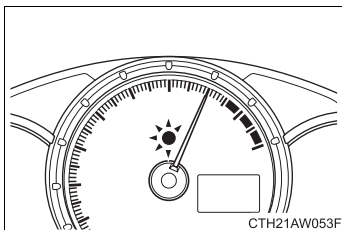
## ■エンジン始動後の音について

エンジン始動後しばらくは、音の演出と環境性能を確保するため、吸排気音が大きくなり、振動が増す場合がありますが、異常ではありません。

## ■運転標識の取り付け

磁石式の初心者運転標識や高齢者運転標識などをアルミボディ部に取り付けることはできません。

## ■REV インジケーター



設定したエンジン回転数に到達したことを、表示灯の点灯とブザーの吹鳴でお知らせします。(→P. 181)

(設定にかかわらず、エンジン回転数がレッドゾーンに入った場合は表示灯が点滅しません。)

### ⚠ 警告

#### ■クリープ現象について (オートマチック車)

エンジンがかかっているとき、アクセルペダルを踏まなくても、ゆっくりと車が動き出す現象を、クリープ現象といいます。

- 停車中は車が動かないようにブレーキペダルを踏み、必要に応じて駐車ブレーキをかけてください。
- エンジン始動直後やエアコン作動時、ハンドル転舵時などは、自動的にエンジン回転数が高くなるため、クリープ現象が強くなる場合がありますので、ブレーキペダルを確実に踏んでください。  
必要に応じて駐車ブレーキをかけてください。

 **警告**

■ **運転するときは**

- 踏み間違いを避けるため、ブレーキペダルとアクセルペダルの位置を把握しない状態で運転しないでください。
  - ・ アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏むと、車が急発進して思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
  - ・ 後退するときは体をひねった姿勢となるため、ペダルの操作がしにくくなります。ペダル操作が確実にできるよう注意してください。
  - ・ 車を少し移動させるときも正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。
  - ・ ブレーキペダルは右足で操作してください。左足でのブレーキ操作は緊急時の反応が遅れるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ブレーキペダルやクラッチペダルに足をのせたまま運転しないでください。ブレーキやクラッチの部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱して効きが悪くなるおそれがあります。
- 燃えやすいものの上を走行したり、可燃物付近に車を止めたりしないでください。排気管や排気ガスは高温になり、可燃物が近くにあると火災になるおそれがあり危険です。
- オートマチック車では、セレクトレバーを前進側のシフトポジションにいれたまま惰性で後退したり、Rにいれたまま惰性で前進することは絶対にやめてください。  
エンジンが止まり、ブレーキの効が悪くなったり、ハンドルが重くなったりして、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。
- 車内で排気ガス臭に気付いたら、ドアガラスを開け、トランクが閉まっていることを確認してください。多量の排気ガスが眠気を招き事故の原因になるほか、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。すみやかにスバル販売店で点検整備を受けてください。

**警告**

- マニュアル車では、車両が前進しているあいだは、チェンジレバーを R に入れないでください。  
トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 車両が後退しているあいだは、セレクトレバーを D (オートマチック車) またはチェンジレバーを 1 速 (マニュアル車) に入れないでください。  
トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- マニュアル車では、クラッチペダルを一気に離す操作はしないでください。車両が飛び出して、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 走行中にセレクトレバーを N (オートマチック車) またはチェンジレバーをニュートラル (マニュアル車) にすると、トランスミッションとエンジンの動力伝達が解除され、エンジンブレーキが効かなくなります。
- 通常走行時は、走行中にエンジンを停止しないでください。走行中にエンジンを停止してもハンドルやブレーキの操作は可能ですが、操作力補助がなくなります。その場合はハンドルとブレーキの操作が困難になるため、安全を確認した上で、すみやかに道路脇に停車してください。
- 急な下り坂では、エンジンブレーキを使用してスピードを下げてください。フットブレーキを連続して使いすぎると、ブレーキがオーバーヒートして正常に機能しなくなります。(→P. 158, 164)
- 走行中はハンドル・シート・ドアミラー・ルームミラーの調整をしないでください。  
運転を誤り、思わぬ事故の原因になって重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- すべての乗員は頭や手、その他の体の一部を車から出さないようにしてください。重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



## 警告

### ■ すべりやすい路面を運転するときは

- 急ブレーキ・急加速・急ハンドルはタイヤがスリップし、車両の制御ができなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 急激なアクセル操作、シフトチェンジによるエンジンブレーキやエンジン回転数の変化は、車が横すべりするなどして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 水たまり走行後はブレーキペダルを軽く踏んでブレーキが正常に働くことを確認してください。ブレーキパッドがぬれるとブレーキの効きが悪くなったり、ぬれていない片方だけが効いたりしてハンドルをとられ、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

### ■ セレクトレバーまたはチェンジレバーを操作するときは

- オートマチック車では、発進時、セレクトレバーの操作を行うときは、アクセルペダルから足を離し、ブレーキペダルを踏みながら操作してください。アクセルペダルを踏んだまま操作すると急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- オートマチック車では、誤発進防止のため、後退したあとはセレクトレバーをすみやかに R から N または P にする習慣をつけてください。
- セレクトレバーまたはチェンジレバー周辺にものを置かないでください。誤操作の原因になります。
- 掃除等により、セレクトレバーまたはチェンジレバーのブーツを引き出した際は、もとに戻してください。ブーツが引き出されたままだと、セレクトレバーまたはチェンジレバーが操作しにくくなるおそれがあります。



 **警告****■ 継続的にブレーキ付近から警告音（キーキー音）が発生したときは**

できるだけ早くスバル販売店で点検を受け、ブレーキパッドを交換してください。必要なときにパッドの交換が行われないと、ローターの損傷につながる場合があります。

ブレーキパッドやディスクローターなどの部品は、役割を果たすと共に摩耗していきます。摩耗の限界をこえて走行すると故障を引き起こすばかりでなく、事故につながるおそれがあります。

**■ 停車するときは**

- 空ぶかしをしないでください。

オートマチック車ではセレクトレバーがPまたはN以外、マニュアル車ではチェンジレバーがニュートラル以外にあると、車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- 長時間エンジンをかけたままにしないでください。

どうしても必要な場合は、開かれた場所に車を止め、排気ガスが車内に入っていないことを確認してください。

- オートマチック車では、車が動き出すことによる事故を防ぐため、エンジン回転中は常にブレーキペダルを踏み、必要に応じて駐車ブレーキをかけてください。

- 坂道で停車するときは、前後に動き出して事故につながるのを防ぐため、常にブレーキペダルを踏み、必要に応じて駐車ブレーキをかけてください。

- 停車中に空ぶかしをしないでください。

排気管が過熱し、可燃物が近くにあると火災につながるおそれがあり危険です。



**警告**

**■ 駐車するときは**

- 炎天下では、メガネ・ライター・スプレー缶・炭酸飲料の缶などを車内に放置しないでください。  
放置したまましていると、次のようなことが起こるおそれがあり危険です。
  - ・ライターやスプレー缶からガスがもれたり、出火する
  - ・プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが、変形またはひび割れを起こす
  - ・炭酸飲料の缶が破裂して車内を汚したり、電気部品がショートする原因になる
- ライターを車内に放置したままにしないでください。ライターをグローブボックスなどに入れておいたり、車内に落としたりしておく、荷物を押し込んだりシートを動かしたときにライターの操作部が誤作動し、火災につながるおそれがあり危険です。
- ウインドウガラスなどには吸盤を取り付けしないでください。また、インストルメントパネルの上に芳香剤などの容器を置かないでください。  
吸盤や容器がレンズの働きをして、車両火災につながるおそれがあり危険です。
- シルバー色などの金属蒸着フィルムを曲面ガラスに貼った場合は、ドアやウインドウを開けたまま放置しないでください。直射日光が曲面ガラスの内側に反射し、レンズの働きをして火災につながるおそれがあり危険です。
- 車から離れるときは、必ず駐車ブレーキをかけ、セレクトレバーをP（オートマチック車）にしてエンジンを停止し、施錠してください。  
エンジンがかかっているあいだは、車から離れないでください。
- エンジン回転中または停止直後はマフラーに触れないでください。  
やけどをするおそれがあります。
- 降雪時や雪が積もった場所では、エンジンをかけたままにしないでください。  
まわりに積もった雪で排気ガスが滞留して車内に入り、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **警告****■排気ガスについて**

排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素（CO）が含まれているため、排気ガスを吸い込むと、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 換気が悪い場所ではエンジンを停止してください。  
とくに車庫内など囲まれた場所では排気ガスが充満し、重大な健康障害や死亡に至るおそれがあり危険です。
- 排気管はときどき点検してください。排気管の腐食などによる穴や亀裂、および継ぎ手部の損傷、また、排気音の異常などに気づいた場合は必ずスバル販売店で点検整備を受けてください。そのまま使用すると排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■仮眠するときは**

必ずエンジンを止めてください。

エンジンをかけたまま仮眠すると、無意識にセレクトレバーまたはチェンジレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、事故やエンジンの異常過熱による火災が発生するおそれがあります。さらに、風通しの悪い場所に停めると、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **警告**

■ **ブレーキをかけるときは**

- ブレーキがぬれているときは、普段よりも注意して走行してください。  
ブレーキがぬれていると、制動距離が長くなり、ブレーキのかかりに、左右の違いが出るおそれがあります。また、駐車ブレーキがしっかりとかからないおそれもあります。
- ブレーキ倍力装置が機能しないときは、他の車に近づいたりしないでください。また、下り坂や急カーブを避けてください。  
この場合ブレーキは作動しますが、通常よりも強く踏む必要があります。また制動距離も長くなります。
- 万一エンジンが停止したときは、ブレーキペダルを繰り返し踏まないでください。  
ペダルを踏むたびに、ブレーキのアシスト力の蓄えを使い切ってしまいます。
- ブレーキシステムは2つの独立したシステムで構成されており、一方の油圧システムが故障しても、もう一方は作動します。この場合、ブレーキペダルを通常より強く踏む必要があり、制動距離が長くなります。一方のブレーキシステムしか作動していない状態で走行しないでください。ただちにブレーキの修理を受けてください。

 注意

## ■ 運転中は（オートマチック車）

- 運転中にアクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏むと、駆動力を抑制する場合があります。
- 坂道で停車するために、アクセルペダルを使ったり、アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだりしないでください。

## ■ 運転中は（マニュアル車）

- 運転中にアクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏むと、駆動力を抑制する場合があります。
- クラッチペダルを確実に踏み込んでいない状態で、チェンジレバーを操作しないでください。クラッチやトランスミッションが損傷するおそれがあります。
- クラッチの損傷を防ぐため、次のことをお守りください。
  - ・ クラッチペダルに足を乗せたまま走行しない
  - ・ 1 速以外での発進は避ける
  - ・ 坂道発進時など、必要以上に半クラッチのままでも走行しない
- 車がまだ動いているときに R に入れないでください。  
クラッチ・トランスミッション・ギヤに損傷を受けるおそれがあります。
- クラッチペダルを一気に離す操作はしないでください。トランスミッションを損傷するおそれがあります。

## ■ 駐車するときは（オートマチック車）

必ずセレクトレバーを P にしてください。P にしておかないと、車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込んだときに急発進するおそれがあります。

 **注意**

■ **部品の損傷を防ぐために**

- パワーステアリングモーターの損傷を防ぐため、ハンドルをいっぱいに戻した状態を長く続けないでください。
- ディスクホイールなどの損傷を防ぐため、段差などを通過するときは、できるだけゆっくり走行してください。
- オートマチック車では 5 秒以上空ぶかしをしないでください。  
ブレーキペダルを踏んでいるまたは輪止めをしている状態で、セレクトレバーが P または N 以外にあると、トランスミッションフルードの温度が上昇し、オーバーヒートするおそれがあります。

■ **走行中にタイヤがパンクしたら**

以下のようなときはタイヤのパンクや損傷が考えられます。ハンドルをしっかり持って徐々にブレーキをかけ、スピードを落としてください。

- ハンドルがとられる
- 異常な振動がある
- 車両が異常に傾く

タイヤがパンクした場合の対処法は P. 318 をご覧ください。

■ **冠水路走行に関する注意**

大雨などで冠水した道路では、次のような重大な損傷を受けるおそれがあるため、走行しないでください。

- エンストする
- 電装品がショートする
- 水を吸い込んだエンジンの破損

万一、冠水した道路を走行し、水中に浸かってしまったときは必ずスバル販売店で次の点検をしてください。

- ブレーキの効き具合
- エンジン・トランスミッション・デファレンシャルなどのオイルやフルードの量および質の変化
- プロペラシャフト・各ベアリング・各ジョイント部などの潤滑不良

アクセスキーを携帯して次の操作を行うことで、エンジンの始動またはプッシュエンジンスイッチのモードを切りかえることができます。

### ■ エンジンのかけ方

#### オートマチック車

手順 1 駐車ブレーキがかかっていることを確認する

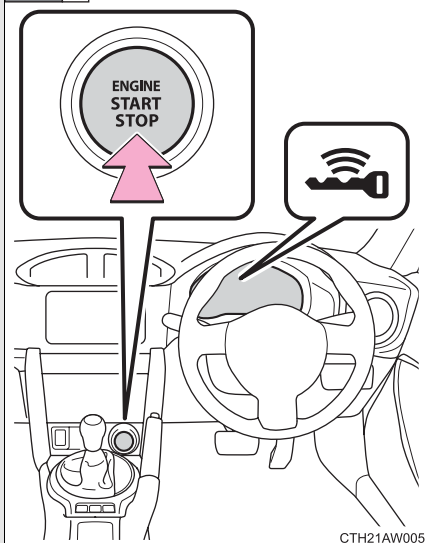
手順 2 セレクトレバーがPの位置にあることを確認する

セレクトレバーがP以外の位置にあるとエンジンを始動させることができません。(→P. 157)

手順 3 ブレーキペダルをしっかりと踏む

キーレスアクセス&プッシュスタート表示灯が緑色に点灯します。  
緑色に点灯していないと、エンジンは始動しません。

手順 4



プッシュエンジンスイッチを押す

エンジンが始動するまで最大 10 秒間スターターが回転します。

完全にエンジンが始動するまでブレーキペダルを踏み続けてください。

プッシュエンジンスイッチのどのモードからでもエンジンを始動できます。

## マニュアル車

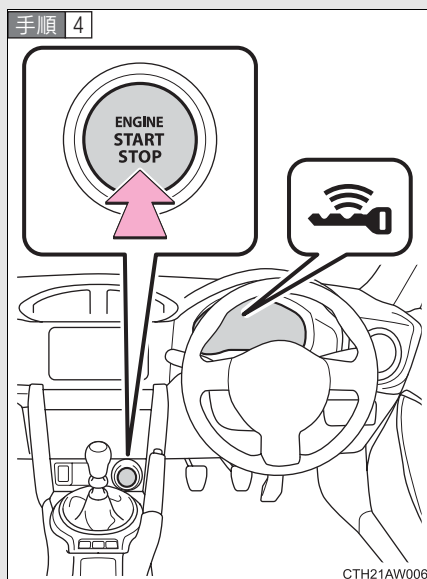
手順 1 駐車ブレーキがかかっていることを確認する

手順 2 チェンジレバーがニュートラルの位置にあることを確認する

手順 3 クラッチペダルをしっかりと踏む

キーレスアクセス&プッシュスタート表示灯が緑色に点灯します。

緑色に点灯していないと、エンジンは始動しません。



プッシュエンジンスイッチを押す

エンジンが始動するまで最大 10 秒間スターターが回転します。

完全にエンジンが始動するまでクラッチペダルを踏み続けてください。

プッシュエンジンスイッチのどのモードからでもエンジンを始動できます。



## ■ エンジンの停止方法

### オートマチック車

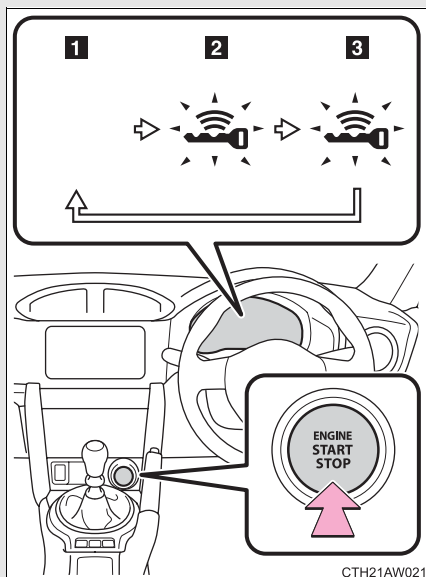
- 手順 1 車両を停止させる
- 手順 2 セレクトレバーを P の位置にする
- 手順 3 駐車ブレーキをかける (→P. 168)
- 手順 4 ブレーキペダルから足を離す
- 手順 5 プッシュエンジンスイッチを押す
- 手順 6 キーレスアクセス&プッシュスタート表示灯が消灯していることを確認する

### マニュアル車

- 手順 1 車両を停止させる
- 手順 2 チェンジレバーをニュートラルの位置にする
- 手順 3 駐車ブレーキをかける (→P. 168)
- 手順 4 クラッチペダルから足を離す
- 手順 5 プッシュエンジンスイッチを押す
- 手順 6 キーレスアクセス&プッシュスタート表示灯が消灯していることを確認する

## ■ プッシュエンジンスイッチのモード切りかえ

ブレーキペダル（オートマチック車）またはクラッチペダル（マニュアル車）を踏まずにプッシュエンジンスイッチを押すと、モードを切りかえることができます。（スイッチを押すごとにモードが切りかわります。）



### 1 OFF ※

非常点滅灯（ハザードランプ）が使用できます。

キーレスアクセス&プッシュスタート表示灯が消灯します。

### 2 アクセサリーモード

電源ソケットなどの電装品が使用できます。

キーレスアクセス&プッシュスタート表示灯が緑色にゆっくりと点滅します。

### 3 イグニッション ON モード

すべての電装品が使用できます。

キーレスアクセス&プッシュスタート表示灯が緑色にゆっくりと点滅します。

※ :オートマチック車：セレクトレバーが P 以外のときはアクセサリーモードになり、OFF になりません。

## セレクトレバーが P 以外でエンジンを停止したときは（オートマチック車）

セレクトレバーが P 以外でエンジンを停止させた場合、プッシュエンジンスイッチのモードはアクセサリーモードになり OFF になりません。以下の手順で OFF にしてください。

**手順 1** 駐車ブレーキがかかっていることを確認する

**手順 2** セレクトレバーを P の位置にする

**手順 3** キーレスアクセス&プッシュスタート表示灯が緑色にゆっくりと点滅していることを確認し、プッシュエンジンスイッチを 1 回押す

**手順 4** キーレスアクセス&プッシュスタート表示灯が消灯していることを確認する

### 知識

#### ■ 自動電源 OFF 機能

##### オートマチック車

車を停車しセレクトレバーを P の位置にして、1 時間以上アクセサリーモードまたはイグニッション ON モード（エンジン始動していない状態）にしたままにしておくと、プッシュエンジンスイッチが自動で OFF になります。

ただし、自動電源 OFF 機能は、バッテリー上がりを完全に防ぐものではありません。エンジンがかかっていないときは、プッシュエンジンスイッチをアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードにしたまま長時間放置しないでください。

##### マニュアル車

1 時間以上アクセサリーモードかイグニッション ON モード（エンジン始動していない状態）にしたままにしておくと、プッシュエンジンスイッチが自動で OFF になります。

ただし、自動電源 OFF 機能は、バッテリー上がりを完全に防ぐものではありません。エンジンがかかっていないときは、プッシュエンジンスイッチをアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードにしたまま長時間放置しないでください。

## ■ プッシュエンジンスイッチの操作について

プッシュエンジンスイッチを操作する際は、短く確実に押してください。確実に押せてない場合は、モードの切りかえやエンジンの始動ができない場合があります。また、確実に操作すれば押し続ける必要はありません。

## ■ アクセスキーの電池の消耗について

→P. 48

## ■ キーレスアクセス&プッシュスタートが正常に働かないおそれのある状況

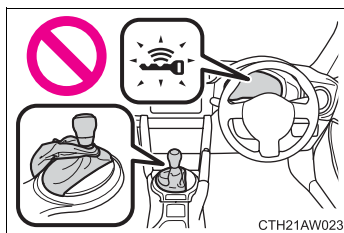
→P. 44

## ■ ご留意いただきたいこと

→P. 45

## ■ エンジンが始動しないときは

イモビライザー（盗難防止用エンジン始動ロックシステム）が解除されていない可能性があります。（→P. 89）  
スバル販売店へ連絡してください。

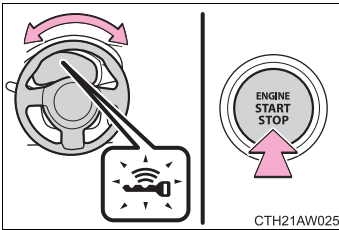


オートマチック車：セレクトレバーがPの位置にあるか確認してください。エンジンを始動するときに、セレクトレバーが傾いたり、P以外の位置にするとステアリングロック機能が作動しエンジンを始動することができないことがあります。キーレスアクセス&プッシュスタート表示灯が緑色に速く点滅します。

## ■ ステアリングロックについて

プッシュエンジンスイッチをOFFにしたあとにドアを開閉すると、ステアリングロック機能によりハンドルが固定されます。プッシュエンジンスイッチを操作すると、ステアリングロックは自動で解除されます。

## ■ステアリングロックが解除できないときは



キーレスアクセス&プッシュスタート表示灯が緑色に速く点滅します。

### オートマチック車

セレクトレバーがPの位置にあることを確認して、ハンドルを左右にまわしながら再操作してください。

### マニュアル車

ハンドルを左右にまわしながら再操作してください。

## ■ステアリングロックモーターのオーバーヒート防止について

短時間にエンジンの始動・停止を繰り返すと、モーターのオーバーヒート防止のために作動制限することがあります。その場合は操作を控えてください。10秒程度でもとの状態にもどります。

## ■キーレスアクセス&プッシュスタート表示灯が黄色に点滅したときは

システムに異常があるおそれがあります。ただちにスバル販売店で点検を受けてください。

## ■アクセスキーの電池が切れたときは

→P. 290

## ■カスタマイズ機能でキーレスアクセス&プッシュスタートをキャンセルしたときは

→P. 337

## ■バッテリー交換などでバッテリー端子を再接続した直後は

エンジンが始動しないことがあります。その場合はプッシュエンジンスイッチをイグニッションONモードにし、10秒以上経過してからエンジンを始動してください。エンジン始動直後はアイドリングが不安定になることがありますが、異常ではありません。

 **警告**

■ **エンジンを始動するときは**

- 必ず運転席に座って行ってください。このとき決してアクセルペダルは踏まないでください。思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- エンジン始動操作をしたとき、キーレスアクセス&プッシュスタート表示灯が緑色に速く点滅しているときは、けん引等も含め絶対に車両の移動はしないでください。ステアリングロックが解除されていない状態のため、ハンドル操作ができず思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ **走行中の警告**

エンジンの停止などで車両滑走状態になったときは、車両が安全な状態で停止するまでドアを開けたり、ロック操作をしたりしないでください。ステアリングロック機能が作動し、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ **エンジン停止方法**

走行中はプッシュエンジンスイッチにさわらないでください。  
プッシュエンジンスイッチを約3秒以上押し続ける、またはすばやく3回以上連続で押すとエンジンが停止します。エンジンが停止するとブレーキブースター（制動力倍力装置）が効かなくなり、ペダルを踏むときに通常より強い力が必要となります。  
また、パワーステアリング機能が働かずハンドル操作が重くなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

 **注意****■ バッテリー上がりを防止するために**

- エンジンがかかっていないときは、プッシュエンジンスイッチをアクセサリモードまたはイグニッション ON モードにしたまま長時間放置しないでください。
- キーレスアクセス&プッシュスタート表示灯が消灯していない場合、プッシュエンジンスイッチが OFF になっていません。プッシュエンジンスイッチを OFF にしてから車両を離れてください。
- オートマチック車:セレクトレバーがP以外でエンジンを停止させないでください。セレクトレバーが P 以外でエンジンを停止させた場合、プッシュエンジンスイッチがアクセサリモードとなるため、そのまま放置するとバッテリー上がりの原因となります。

**■ エンジンを始動するとき**

- エンジンが冷えた状態で空ぶかししないでください。
- エンジンが始動しにくかったり、エンストする場合は、ただちにスバル販売店で点検を受けてください。

**■ プッシュエンジンスイッチの操作について**

プッシュエンジンスイッチ操作時に引っかかりなどの違和感があるときは、故障のおそれがあります。すみやかにスバル販売店にご連絡ください。

## ■ エンジンのかけ方

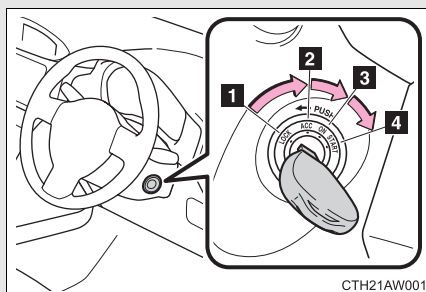
### オートマチック車

- 手順 1 駐車ブレーキがかかっていることを確認する
- 手順 2 セレクトレバーが P の位置にあることを確認する
- 手順 3 運転席に座ってブレーキペダルをしっかりと踏む
- 手順 4 エンジンスイッチを “START” の位置にまわす

### マニュアル車

- 手順 1 駐車ブレーキがかかっていることを確認する
- 手順 2 チェンジレバーがニュートラルの位置にあることを確認する
- 手順 3 クラッチペダルとブレーキペダルをしっかりと踏む
- 手順 4 エンジンスイッチを “START” の位置にまわす

## ■ エンジンスイッチの位置の切りかえ



### 1 “LOCK” (OFF)

- ・ ステアリングロックがかかります。
- ・ キーを抜き挿しすることができます。  
(オートマチック車は、セレクトレバーの位置が P のとき、キーを抜き挿しできます)

### 2 “ACC”

電源ソケットなどの電装品が使用できます。

### 3 “ON”

すべての電装品が使用できます。

### 4 “START”

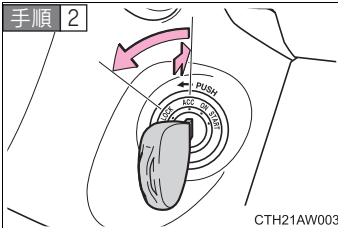
エンジンが始動できます。



## 知識

### ■ キーを“ACC”から“LOCK”にまわすには

**手順 1** チェンジレバーがニュートラル（マニュアル車）またはセレクトレバーがP（オートマチック車）の位置にあることを確認する



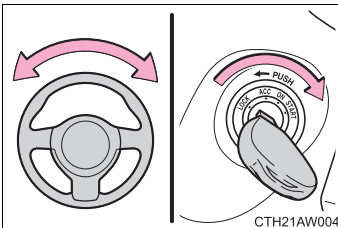
キーを押し込みながら“LOCK”までまわす

### ■ エンジンが始動しないときは

イモビライザー（盗難防止用エンジン始動ロックシステム）が解除されていない可能性があります。（→P. 89）

スバル販売店へ連絡してください。

### ■ ステアリングロックを解除するには



ステアリングを左右に動かしながら、エンジンスイッチをまわしてください。

### ■ キー抜き忘れ警告ブザー

キーが挿してあり、エンジンスイッチが“ACC”または“LOCK”のとき、運転席ドアを開けると警告音が鳴ります。

### ■ バッテリー交換などでバッテリー端子を再接続した直後は

エンジンが始動しないことがあります。その場合はエンジンスイッチを“ON”にし、10秒以上経過してからエンジンを始動してください。エンジン始動直後はアイドリングが不安定になることがあります。異常ではありません。


 **警告**

■ **エンジンを始動するときは**

必ず運転席に座って行ってください。このとき決してアクセルペダルは踏まないでください。思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ **走行中の警告**

走行中はエンジンスイッチを“LOCK”にしないでください。緊急時は走行中にエンジンを切り、“ACC”にしてください。走行中にエンジンが停止すると思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 **注意**

■ **バッテリー上がりを防止するために**

エンジンがかかっていないときは、エンジンスイッチを“ACC”または“ON”にしたまま長時間放置しないでください。

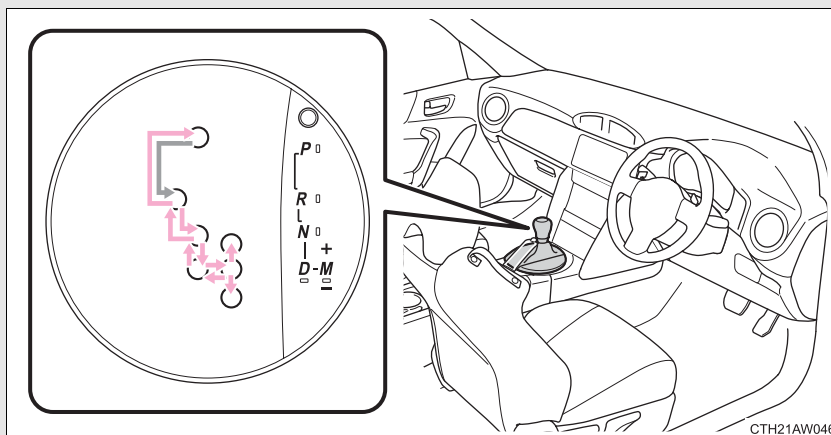
■ **エンジンを始動するとき**

- 一度に 10 秒以上スターターをまわさないでください。スターターが故障する原因になります。  
エンジンがかからないときは、一旦エンジンスイッチを“LOCK”に戻し、10 秒以上放置してからもう一度まわしてください。
- エンジンが冷えた状態で空ぶかししないでください。
- エンジンが始動しにくかったり、エンストする場合は、ただちにスバル販売店で点検を受けてください。

# オートマチックトランスミッション★

状況に応じてシフトポジションをお選びください。

## ■ セレクトレバーの動かし方



### キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外

エンジンスイッチが“ON”の状態、ブレーキペダルを踏んだまま操作します。

PとDのあいだの操作は、ブレーキペダルを踏み、車を完全に止めてから行ってください。

### キーレスアクセス&プッシュスタート装着車

プッシュエンジンスイッチがイグニッションONモードの状態、ブレーキペダルを踏んだまま操作します。

PとDのあいだの操作は、ブレーキペダルを踏み、車を完全に止めてから行ってください。

★: 仕様により異なる装備やオプション装備

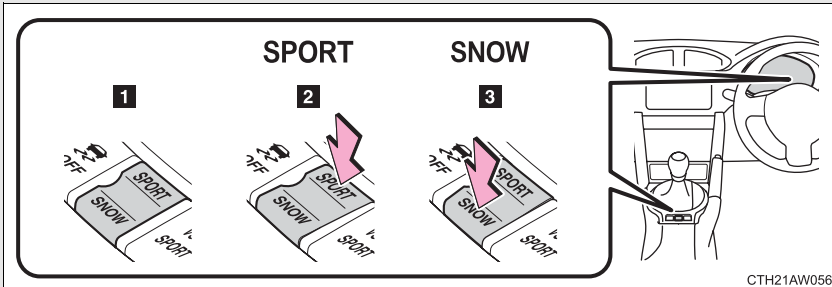
## ■ シフトポジションの使用目的

シフトポジション	メーター表示	目的
P (パーキング)		駐車またはエンジン始動
R (リバース)		後退
N (ニュートラル)		動力が伝わらない状態
D (ドライブ)		通常走行※ (1 速～6 速まで自動変速)
	 (パドルシフト操作時)	一時的なマニュアルモード走行 (→P. 162)
M (マニュアル)		マニュアルモード走行 (→P. 160)

※ D ポジションを使用することで、そのときの走行状況に適切なギヤ段が自動で選択されます。通常は D ポジションを使用してください。

## ■ 走行モードの選択

AT スポーツ／スノーモードスイッチを押すことで、走行・使用条件にあわせて次のモードを選択できます。



### 1 通常走行モード

### 2 スポーツモード

SPORT 表示灯が点灯します。

スポーティな走行、カーブの多い山間地などの走行に適しています。

### 3 スノーモード

SNOW 表示灯が点灯します。

雪道など、すべりやすい路面での発進・走行に適しています。

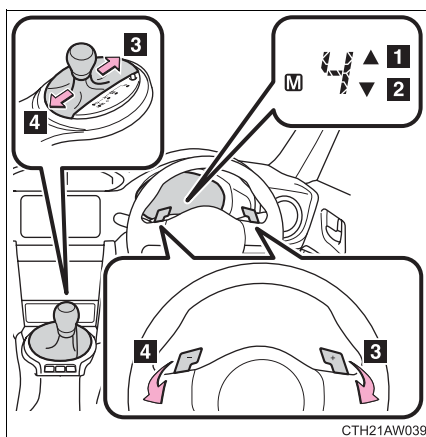
スポーツモードまたはスノーモードを解除するときは、もう一度同じスイッチを押します。

## マニュアルモード走行

セレクトレバーを M ポジションにすると、マニュアルモードに切りかわります。

シフトアップ/ダウン可能表示灯が点灯しているあいだ、セレクトレバーまたはパドルシフト★の-側または+側の操作で思い通りのギヤ段を選択し、運転することができます。

低すぎる車速でシフトアップ操作を行った場合は変速しません。



- 1 シフトアップ可能表示灯
- 2 シフトダウン可能表示灯
- 3 シフトアップ (+)
- 4 シフトダウン (-)

セレクトレバーまたはパドルシフト★を操作するごとに 1 速ずつ変速し、選択したギヤ段に固定されます。

セレクトインジケーターに [M] が点灯し、1 ~ 6 速のあいだで選択されているギヤ段が表示されます。

マニュアルモードでは、セレクトレバーまたはパドルシフト★を操作しない限り変速しません。ただし、次の場合は自動的に変速します。

- 車速が低下した場合 (シフトダウンのみ)
- エンジンオイルが高温で、エンジン回転数がレッドゾーン近くまで上昇した場合

★: 仕様により異なる装備やオプション装備

 知識**■ セレクトレバーを P から他の位置にするときは**

先にセレクトレバーを横に押してからブレーキペダルを踏むと、レバー操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏み、セレクトレバーを操作してください。

**■ キックダウンについて**

D ポジションで走行中にアクセルペダルを深く踏み込むと、自動的に低速ギヤ段に切りかわります（キックダウン）。強い加速力を必要とするときに使用します。

セレクトレバーが M ポジションのときは、キックダウンは使用できません。キックダウンを使用する必要がある場合は、D ポジションに戻してください。

**■ シフトダウン制限警告ブザー**

シフトダウン不可能な車速（シフトダウンすることによりエンジン回転数がレッドゾーンに入る場合）でシフトダウン操作をした場合、ブザーが鳴り、運転者にシフトダウンできないことを知らせます。

**■ リバース警告ブザー**

セレクトレバーを R に入れるとブザーが鳴り、R にあることを運転者に知らせます。

**■ スポーツモードについて**

- スポーツモードでは、低ギヤ段を使用し、より高いエンジン回転数で変速します。
- セレクトレバーが M ポジションでスポーツモードに切りかえた場合、SPORT 表示灯は点灯しますがスポーツモードの制御はしません。セレクトレバーを D ポジションにしてください。

**■ スノーモードについて**

スノーモードでは、すべり防止のため、1 速には入りません。

**■ 走行モードの自動解除**

スポーツモードまたはスノーモードを選択して走行後、エンジンを切ると、自動的に通常走行モードに切りかわります。

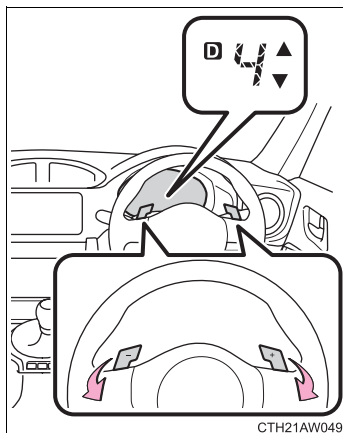
■セレクトレバーがPからシフトできないときは

→P. 334

■停車したときのギヤ段について

暖機中のアイドリング回転数が高いとき、かつ路面がすべりやすい状態のときは、自動的に2速での停止・2速からの発進となる場合があります。

■一時的なマニュアルモード走行について（パドルシフト装着車）



セレクトレバーがDポジションのときにパドルシフトを操作することにより、一時的にマニュアルモード走行に切りかわりません。

このとき、セレクトインジケーターに [D] が点灯し、選択されているギヤ段が表示されます。

(エンジン回転数がレッドゾーン近くまで上昇したときは、自動的にシフトアップします。)

次のとき、一時的なマニュアルモード走行は解除され、通常走行に戻ります。

- 一定時間以上走行したとき（操作時の走行状況により時間は異なります）
- 停車したとき
- アクセルペダルを一定時間以上踏み続けたとき
- アクセルペダルを奥まで踏み込んだとき



## ■ アダプティブ制御

D ポジションで走行しているときは、よりスムーズな走りを実現するため、運転者の運転操作と走行状況により、シフトアップの制限・シフトダウンの実施を行い、自動的に適切なギヤ段に切りかえます。

- 上り坂を走行しているとき、不要なシフトアップ・シフトダウンを防ぎます。
- 下り坂を走行しているとき、通常よりも高いエンジン回転数でシフトダウンします。
- カーブを走行しているとき、加速中でもシフトアップを防ぎます。
- ブレーキを強く踏むと自動的にシフトダウンし、エンジンブレーキを積極的に作用させます。
- 加速中、アクセルを急にもどすと、シフトアップを防ぎます。

アダプティブ制御は、セレクトレバーを D ポジションにしているときに自動的に作動します。(パドルシフトを操作したりセレクトレバーを M ポジションにすると、機能が解除されます。)

### 警告

#### ■ すべりやすい路面では

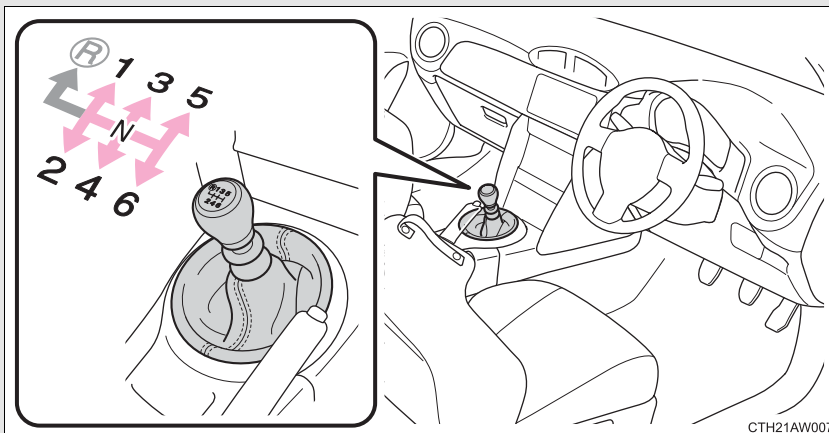
急なアクセル操作や、エンジンブレーキ力の急激な変化が横すべりやスピンの原因となりますので注意してください。

#### ■ 誤操作を防ぐために

パドルシフトにアクセサリなどをかけないでください。  
パドルシフトが不意に動くおそれがあります。

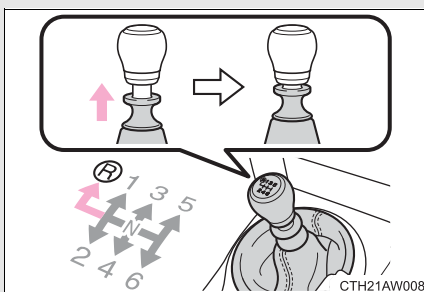
# マニュアルトランスミッション★

## ■ チェンジレバーの動かし方



クラッチペダルをしっかり踏み、チェンジレバーをゆっくり操作します。

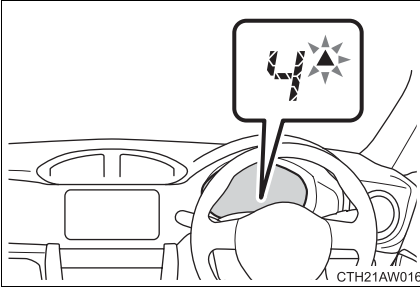
## ■ R へのシフト操作



プルリングを引き上げながら、Rに入れます。

★: 仕様により異なる装備やオプション装備

## シフトアップ表示灯



燃費効率の良い運転ができるように、シフトアップ表示灯が3回点滅し、シフトアップのタイミングをお知らせします。

表示／非表示を切りかえることができます。(→P. 173)

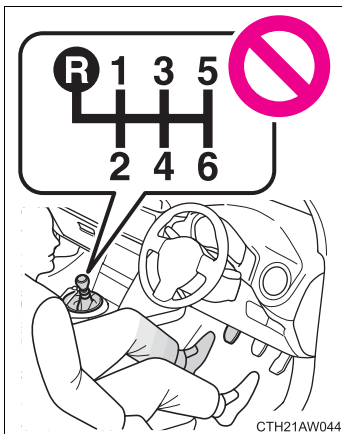
### 知識

#### ■リバース警告ブザー

チェンジレバーをRに入れるとブザーが鳴り、Rにあることを運転者に知らせます。

 注意

■ トランスミッションの損傷を防ぐために

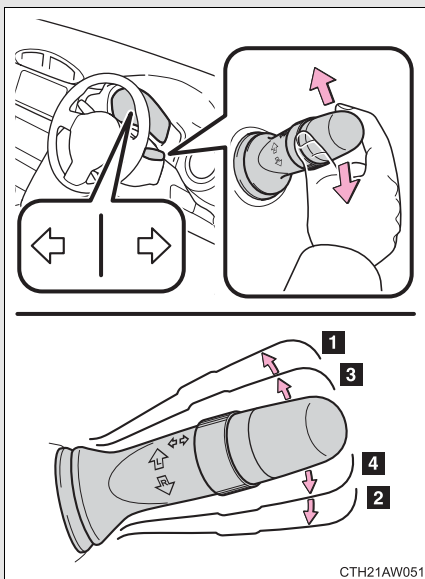


- クラッチペダルを踏まずにチェンジレバーを操作しないでください。

- Rヘシフトするとき以外は、プルリングを上へ引かないでください。
- Rヘシフトするときは、車が停止した状態で行ってください。

## 2-1. 運転のしかた 方向指示レバー

レバー操作により、次のように運転者の意思を表示することができます。



- 1 左折
- 2 右折
- 3 左側へ車線変更  
(レバーを途中で保持)  
レバーを離すまで左側方向指示灯  
が点滅します。
- 4 右側へ車線変更  
(レバーを途中で保持)  
レバーを離すまで右側方向指示灯  
が点滅します。

### 知識

#### ■ 作動条件

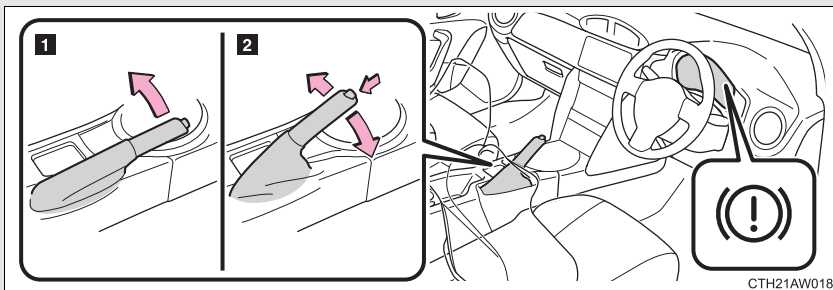
キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外  
エンジンスイッチが“ON” のとき

キーレスアクセス&プッシュスタート装着車  
プッシュエンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

#### ■ 表示灯の点滅が異常に速くなったときは

方向指示灯の電球が切れていないか確認してください。

## 2-1. 運転のしかた 駐車ブレーキ



- 1 駐車ブレーキをかけるには、ブレーキペダルを踏みながら駐車ブレーキレバーをいっぱいまで引く
- 2 駐車ブレーキを解除するには、レバーを少し引き上げ、ボタンを押しながら完全に下までもどす

### 知識

#### ■ 冬季の駐車ブレーキの使用について

→P. 201

### 注意

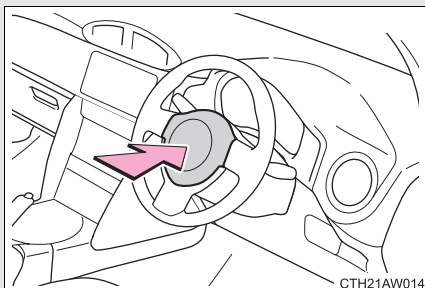
#### ■ 走行前の注意

駐車ブレーキを完全に解除してください。

駐車ブレーキをかけたまま走行すると、ブレーキ部品が過熱し、ブレーキの効きが悪くなったり、早く摩耗したりするおそれがあります。

## 2-1. 運転のしかた

# ホーンスイッチ



ハンドルの  周辺部を押すとホーンが鳴ります。

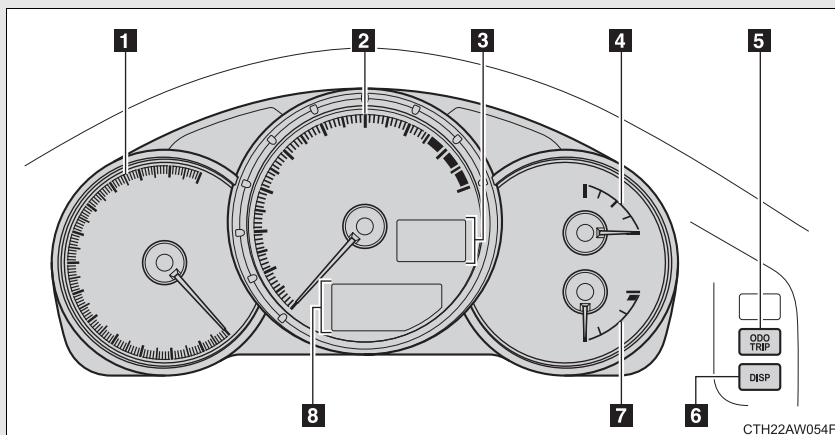
### 知識

#### ■ハンドル位置を調整したあとは

ハンドルが確実に固定されていることを確認してください。  
固定が不十分だとホーンが鳴らない場合があります。(→P. 76)

## 2-2. メーターの見方

# 計器類



- 1** アナログスピードメーター  
車両の走行速度を示します。
- 2** タコメーター  
毎分のエンジン回転数を示します。
- 3** デジタルスピードメーター  
車両の走行速度を示します。
- 4** 燃料計  
燃料残量を示します。
- 5** “ODO/TRIP” スイッチ  
→P. 172
- 6** DISP（表示切り替え）ボタン  
→P. 180
- 7** 水温計  
エンジン冷却水の温度を示します。



**8** オドメーター、トリップメーター、マルチインフォメーションメーター

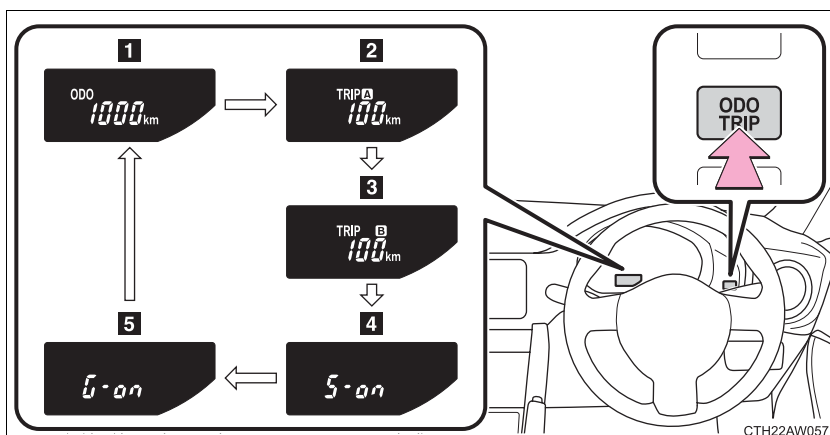
オドメーター：走行した総距離を表示します。

トリップメーター：リセットしてからの走行距離を表示します。区間距離は、トリップA、トリップBの2種類で使い分けることができます。

マルチインフォメーションメーター：走行に関する様々な情報を表示します。  
(→P. 179)

## 表示の切りかえ

“ODO/TRIP” スイッチを押すごとに、次のように切りかわります。



- 1 オドメーター
- 2 トリップメーター A ※ 1
- 3 トリップメーター B ※ 1
- 4 指針の初期作動の設定画面 ※ 2  
→P. 173
- 5 MT シフト表示の設定画面 ※ 2 (マニュアル車)  
→P. 173

※ 1 表示中に“ODO/TRIP”スイッチを長押しすると、走行距離はリセットされ、0に戻ります。

※ 2 エンジンスイッチが“ACC”または“LOCK”のとき（キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外）、またはプッシュエンジンスイッチがアクセサリモードまたはOFFのとき（キーレスアクセス&プッシュスタート装着車）のみ表示されます。

### 指針の初期作動（タコメーターのみ）

エンジンスイッチを“ON”（キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外）またはプッシュエンジンスイッチをイグニッション ON モード（キーレスアクセス&プッシュスタート装着車）にすると、タコメーターの指針が一度最大値を指し、すみやかに戻ります。（スワイプ機能）

#### ■ 作動／非作動の切りかえ

**手順 1** “ODO/TRIP” スイッチを押して、設定画面を表示させる（→P. 172）

**手順 2** “ODO/TRIP” スイッチを長押しする

長押しすることにより作動／非作動が切りかわります。

[S-on]：作動

[S-off]：非作動

### MT シフト表示の設定（マニュアル車）

シフトポジション表示灯とシフトアップ表示灯の表示／非表示を切りかえることができます。

**手順 1** “ODO/TRIP” スイッチを押して、設定画面を表示させる（→P. 172）

**手順 2** “ODO/TRIP” スイッチを長押しする

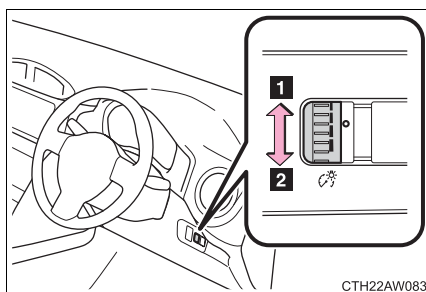
長押しすることにより表示／非表示が切りかわります。

[G-on]：表示

[G-off]：非表示

## イルミネーションコントロールダイヤル

インストルメントパネル照明の明るさを調整できます。



**1** 明るくなる

**2** 暗くなる

### 知識

#### ■ インストルメントパネル照度の減光制御について

車幅灯またはヘッドランプが点灯すると、インストルメントパネル照明は減光されます。ただし、イルミネーションコントロールダイヤルを上側いっぱいにもわした状態では、車幅灯またはヘッドランプが点灯してもインストルメントパネル照明は減光されません。

#### ■ 燃料計について

- 指針が“E”に近づいたら早めに給油してください。
- 指針と消費量（残量）の関係は必ずしも正確ではありません。参考として利用してください。
- 坂道やカーブ・急発進・急停止などでは、タンク内の燃料が移動するため指針が振れることがあります。

 **注意****■ エンジンや構成部品への損傷を防ぐために**

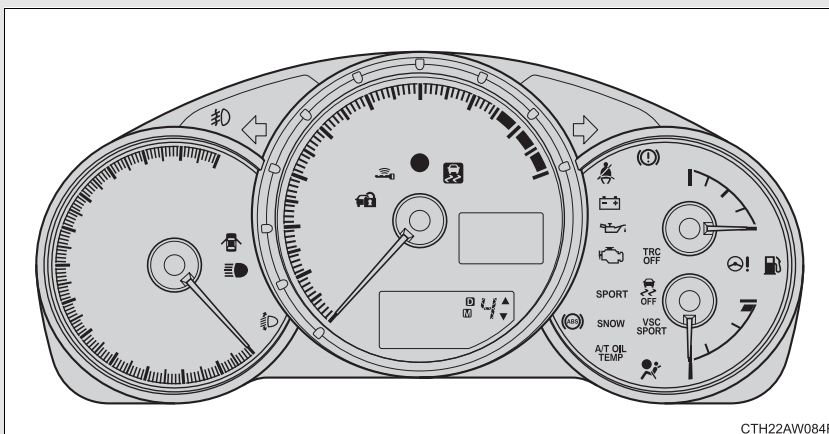
- タコメーターの針がレッドゾーン（エンジンの許容回転数を超えている範囲）に入らないようにしてください。
- 水温計の針がHのレッドゾーンにはいったときは、オーバーヒートのおそれがあるので、ただちに安全な場所に停車してください。（→P. 344）

## 2-2. メーターの見方 表示灯／警告灯

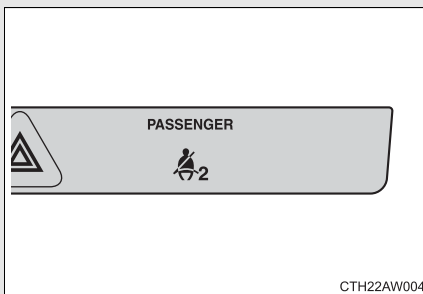
メーター・センターパネル内の表示灯／警告灯でお車の状況をお知らせします。

次のイラストは、説明のためすべての表示灯／警告灯を表示しています。

### メーター



### センターパネル



## ■ 表示灯

システムの作動状況を表示します。



方向指示器表示灯  
(→P. 167)



ハイビーム / パッシング表示灯 (→P. 185)



フロントフォグランプ表示灯★ (→P. 188)



セキュリティ表示灯 (→P. 89, 91)



キーレスアクセス&プッシュスタート表示灯★  
(緑色) (→P. 145)



セレクトインジケーター  
(→P. 158)

(オートマチック車)



シフトアップ / ダウン可能表示灯 (→P. 160, 162)

(オートマチック車)



SPORT 表示灯  
(→P. 159)

(オートマチック車)



SNOW 表示灯  
(→P. 159)

(オートマチック車)



(マニュアル車)

シフトポジション表示灯  
(→P. 164)



(マニュアル車)

シフトアップ表示灯  
(→P. 165)



(点滅)

※

スリップ表示灯  
(→P. 192)



※

TRC OFF 表示灯  
(→P. 193)



※

VSC (VDC) OFF 表示灯  
(→P. 194)



※

VSC (VDC) SPORT 表示灯 (→P. 194)



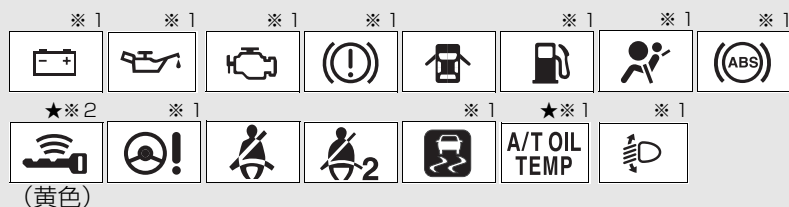
REV インジケーター  
(→P. 135)

★: 仕様により異なる装備やオプション装備

- ※ 作動確認のためにエンジンスイッチを“ON”（キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外）またはプッシュエンジンスイッチをイグニッション ON モード（キーレスアクセス&プッシュスタート装着車）にすると点灯し、数秒後またはエンジンをかけると消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときはシステム異常のおそれがあります。スバル販売店で点検を受けてください。

## ■ 警告灯

万一のシステム異常などを警告します。（→P. 311）



- ※<sup>1</sup> 作動確認のためにエンジンスイッチを“ON”（キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外）またはプッシュエンジンスイッチをイグニッション ON モード（キーレスアクセス&プッシュスタート装着車）にすると点灯し、数秒後またはエンジンをかけると消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときはシステム異常のおそれがあります。スバル販売店で点検を受けてください。
- ※<sup>2</sup> 黄色に点滅した場合はシステム異常のおそれがあります。緑色に速く点滅した場合はステアリングロックが解除できていないことを示します。

## ▲ 警告

### ■ 安全装置の警告灯が点灯しないときは

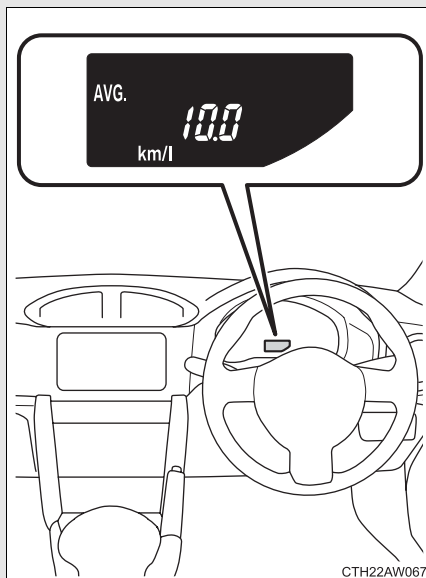
ABS や SRS エアバッグなどの安全装置の警告灯が、エンジンスイッチを“ON”（キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外）またはプッシュエンジンスイッチをイグニッション ON モード（キーレスアクセス&プッシュスタート装着車）にしても点灯しない場合や点灯したままの場合は、事故にあったときに正しく作動せず、重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。ただちにスバル販売店で点検を受けてください。

★：仕様により異なる装備やオプション装備



## マルチインフォメーションメーター

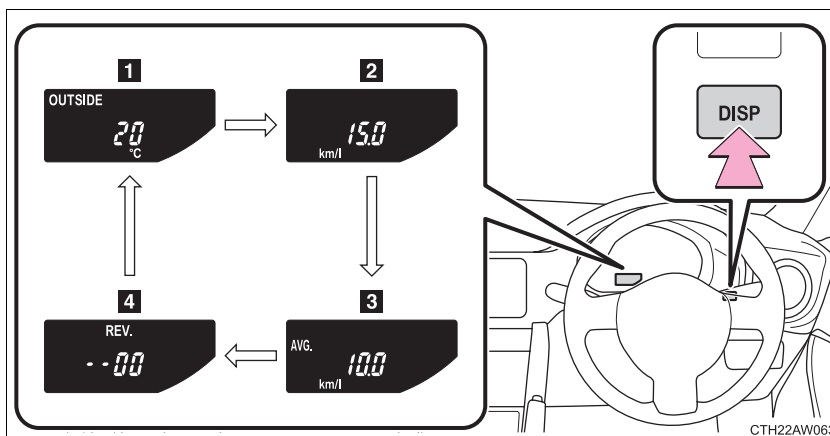
マルチインフォメーションメーターは、外気温や走行に関する様々な情報を表示します。



- 外気温度
- 瞬間燃費
- 平均燃費
- REV インジケーターの設定画面

## 表示の切りかえ

DISP (表示切り替え) ボタンを押すごとに、次のように切りかわります。



**1** 外気温度

→P. 234

**2** 瞬間燃費

現在の瞬間燃費を表示します。

**3** 平均燃費

リセットしてからの平均燃費を表示します。

- ・ リセットするには、平均燃費表示中に DISP (表示切り替え) ボタンを長押しします。
- ・ 表示される平均燃費は、参考として利用してください。

**4** REV インジケータの設定画面<sup>※</sup>

→P. 181

<sup>※</sup> 停車時のみ表示されます。

## REV インジケータの設定

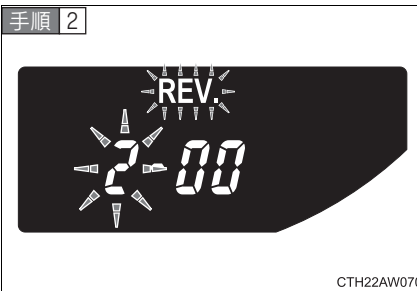
### ■ 設定の変更

REV インジケータが点灯するエンジン回転数と、点灯時のブザー吹鳴あり／なしを設定できます。

回転数設定範囲：2000～7400 rpm

**手順 1** DISP（表示切り替え）ボタンを押して、設定画面を表示させる（→P. 180）

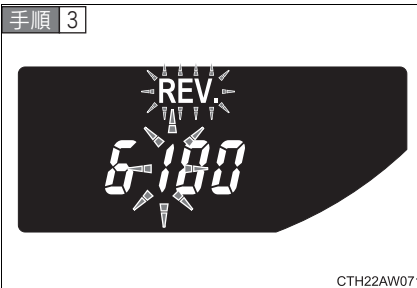
**手順 2**



DISP（表示切り替え）ボタンを長押しする

[REV.] と千の位が点滅します。点滅後、長押しするごとに数字が変わります。

**手順 3**

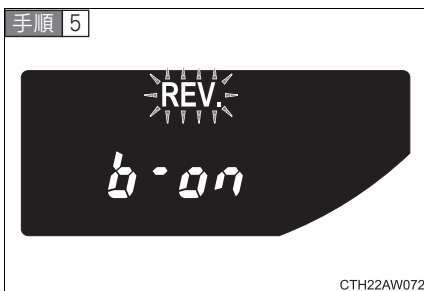


DISP（表示切り替え）ボタンを押す

百の位が点滅します。点滅後、長押しするごとに数字が変わります。

**手順 4** DISP（表示切り替え）ボタンを押す

ブザーが“ピッ”と鳴り、エンジン回転数の設定が完了します。



DISP（表示切り替え）ボタンを長押しする

長押しすることによりブザー吹鳴のあり／なしが切りかわります。

[b-on]：ブザー吹鳴あり

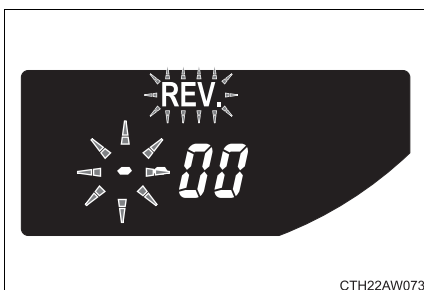
[b-oFF]：ブザー吹鳴なし

[b-oFF] から [b-on] に切りかえると、ブザーが“ピピピ”と鳴ります。

手順 6] DISP（表示切り替え）ボタンを押す

ブザーが“ピー”と鳴り、すべての設定が完了します。設定された状態が表示されます。

## ■ 設定の解除



設定回転数の千の位を[-]にしたあと、DISP（表示切り替え）ボタンを押す

 知識

## ■ 表示条件

キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外

エンジンスイッチが“ON” のとき

キーレスアクセス&プッシュスタート装着車

プッシュエンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

 注意

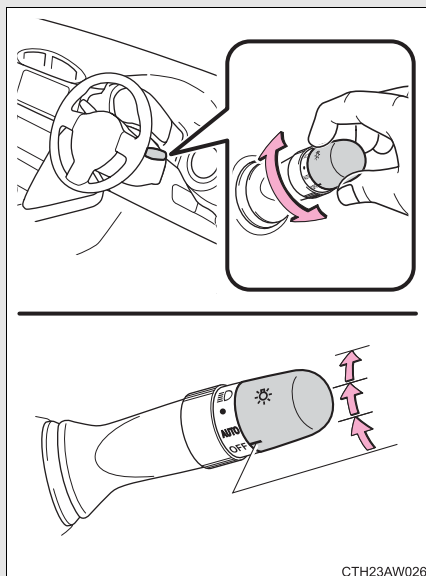
## ■ 低温時の画面表示について

画面の温度が極めて低いときは、画面表示の切りかえが遅れる場合がありますので、車内を暖めてください。

## 2-3. ランプのつけ方・フロントワイパーの使い方 ライティングスイッチ

自動または手動でヘッドランプなどを点灯できます。

レバーの端をまわすと、次のようにランプが点灯します。



**OFF** 消灯

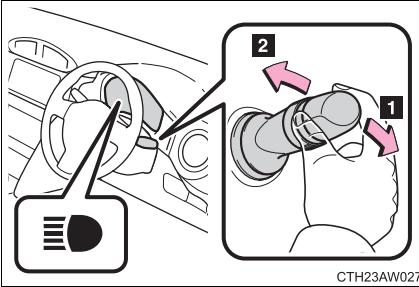
**AUTO** ヘッドランプ、車幅灯など  
(オートライト装着車) を自動点灯・消灯

(エンジンスイッチが“ON” (キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外) またはプッシュエンジンスイッチがイグニッション ON モード (キーレスアクセス&プッシュスタート装着車) のとき)

● 車幅灯・尾灯・番号表示灯・インストルメントパネル照明を点灯

☰D 上記ランプとヘッドランプを点灯

## ハイビームにする



**1** ヘッドランプ点灯時ハイビームに切りかえ

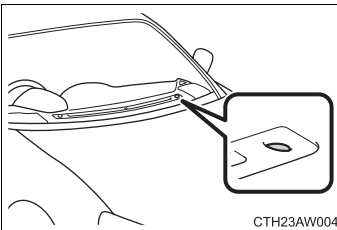
レバーを元の位置へもどすとロービームに戻ります。

**2** レバーを引いているあいだ、ハイビームを点灯

ヘッドランプが消灯していても、ハイビームが点灯します。レバーをはなすと、ロービームに戻るまたは消灯します。

## 知識

### ■ オートライトセンサー（オートライト装着車）




センサーの上に物を置いたり、センサーをふさぐような物をウィンドウガラスに貼らないでください。周囲からの光が遮られると、自動点灯・消灯機能が正常に働かなくなります。

### ■ ランプ消し忘れ防止機能

#### キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外

エンジンスイッチからキーを抜き、運転席ドアを開けると、ヘッドランプと尾灯が消灯します。

再びランプを点灯する場合は、エンジンスイッチを“ON”にするか、一度ライティングスイッチをOFFにもどし、再度 ● または  の位置にします。

#### キーレスアクセス&プッシュスタート装着車

プッシュエンジンスイッチをOFFにして運転席ドアを開けると、ヘッドランプと尾灯が消灯します。

再びランプを点灯する場合は、プッシュエンジンスイッチをイグニッション ON モードにもどし、再度 ● または  の位置にします。

### ■ オートヘッドランプレベライザー

通行人や対向車がまぶしくないように、乗車人数、荷物の量などによる車の姿勢の変化にあわせて、ヘッドランプの光軸を自動で調整します。

### ■ ランプ消し忘れ警告ブザー

ヘッドランプ・尾灯が点灯している状態で運転席ドアを開けると、ランプ類の消し忘れを警告するブザーが鳴ります。

### ■ 節電機能

車両のバッテリー上がりを防止するため、エンジンスイッチを“LOCK”（キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外）またはプッシュエンジンスイッチをOFF（キーレスアクセス&プッシュスタート装着車）の状態ヘッドランプまたは尾灯が点灯している場合、節電機能が働き約 20 分後にすべてのランプが自動消灯します。

以下のいずれかを行った場合、節電機能は解除されます。

- ・ エンジンスイッチを“ON”（キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外）またはプッシュエンジンスイッチをイグニッション ON モード（キーレスアクセス&プッシュスタート装着車）にしたとき
- ・ ライティングスイッチを操作したとき
- ・ ドアを開閉したとき



**■ 販売店で設定可能な機能**

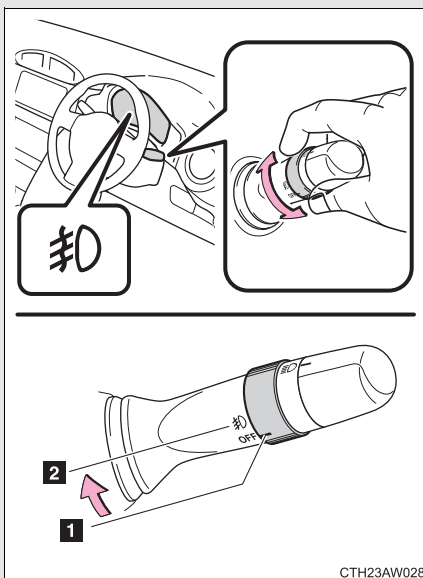
オートライトセンサーの感度の設定などを変更できます。  
(カスタマイズ一覧 →P. 356)

 **注意****■ バッテリー上がりを防止するために**

エンジンを停止した状態でランプを長時間点灯しないでください。

## フォグランプスイッチ★

雨や霧などの悪天候下で視界を確保します。



- 1 フロントフォグランプを消灯する
- 2 フロントフォグランプを点灯する

### 知識

#### ■点灯条件

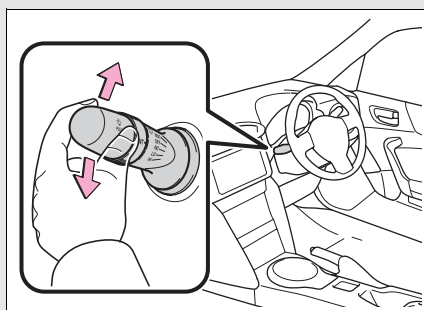
ヘッドランプまたは車幅灯が点灯しているときに使用できます。

★: 仕様により異なる装備やオプション装備

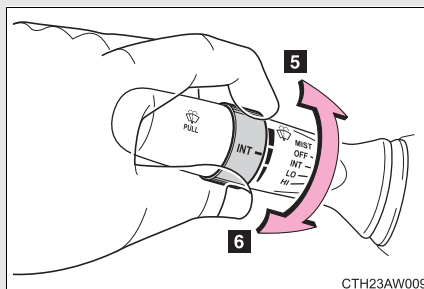
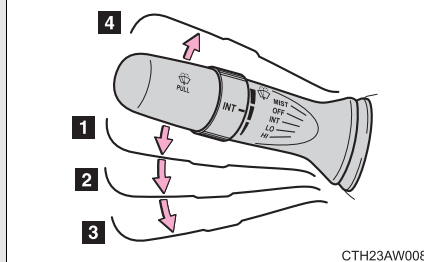
## 2-3. ランプのつけ方・フロントワイパーの使い方 フロントワイパー & ウォッシャースイッチ

INTを選択しているとき、間欠作動の時間を調整することができます。

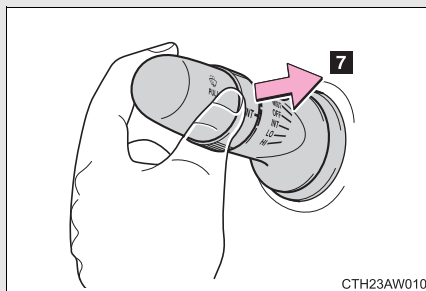
次のようにレバーを操作して、フロントワイパーの作動を選択します。



- 1 間欠作動 (INT)
- 2 低速作動 (LO)
- 3 高速作動 (HI)
- 4 一時作動 (MIST)



- 5 間欠フロントワイパーの作動  
頻度 (減)
- 6 間欠フロントワイパーの作動  
頻度 (増)



#### 7 ウォッシャー液を出す

フロントワイパーが連動して作動します。

### 知識

#### ■ 作動条件

キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外  
エンジンスイッチが“ON” のとき

キーレスアクセス&プッシュスタート装着車  
プッシュエンジンスイッチがイグニッション ON モードのとき

#### ■ ウォッシャー液が出ないときは

ウォッシャー液量が不足していないのにウォッシャー液が出ないときは、ノズルのつまりを点検してください。

### 警告

#### ■ ウォッシャー使用時の警告

寒冷時はフロントウインドウガラスが暖まるまでウォッシャー液を使用しないでください。ウォッシャー液がフロントウインドウガラスに凍りつき、視界不良を起こして思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **注意****■ フロントウィンドウガラスが乾いているときは**

フロントワイパーを使わないでください。  
ガラスを傷つけるおそれがあります。

**■ ウォッシャー液が出ないときは**

ウォッシャースイッチを操作しつづけないでください。  
ポンプが故障するおそれがあります。

**■ ノズルがつまったときは**

ノズルがつまったときはスバル販売店へご連絡ください。  
ピンなどで取り除かないでください。  
ノズルが損傷するおそれがあります。

## 2-4. その他の走行装置の使い方

### 運転を補助する装置

走行の安全性や運転性能を高めるため、走行状況に応じて以下の装置が自動で作動します。ただし、これらの装置は補助的なものなので、過信せずに運転には十分に注意してください。

#### ■ ABS (アンチロックブレーキシステム)

急ブレーキ時やすべりやすい路面でのブレーキ時にタイヤのロックを防ぎ、スリップを抑制します。

#### ■ ブレーキアシスト

急ブレーキ時などに、より大きなブレーキ力を発生させます。

#### ■ VSC (VDC) (ビークルスタビリティコントロール／ビークルダイナミクスコントロール)

急なハンドル操作や、すべりやすい路面で旋回するときに横すべりを抑え、車両の姿勢維持に寄与します。

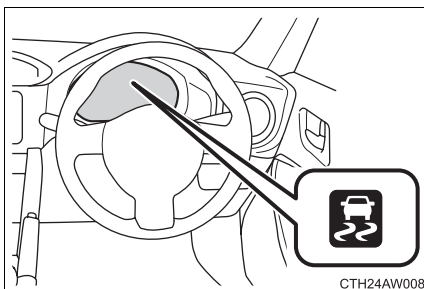
#### ■ TRC (トラクションコントロール)

すべりやすい路面での発進時や加速時にタイヤの空転を抑え、駆動力を確保します。

#### ■ 電動パワーステアリング


電気式モーターを利用して、ハンドル操作を補助します。

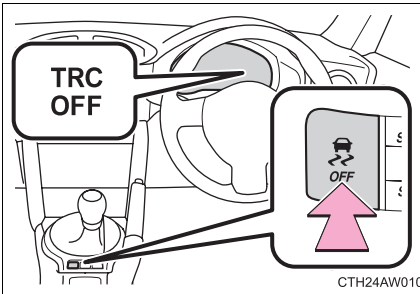
### TRC・VSC (VDC) が作動しているとき



VSC (VDC) ・ TRC が作動しているときは、スリップ表示灯が点滅します。

## TRC を停止するには

ぬかるみや砂地、雪道などから脱出するときに、TRC が作動していると、アクセルペダルを踏み込んでもエンジンの出力が上がらず、脱出が困難な場合があります。このようなときに、 を押すことにより、脱出しやすくなる場合があります。



TRC を停止するにはスイッチを押す

TRC OFF 表示灯が表示されます。

もう一度スイッチを押すと、システム作動可能状態にもどります。

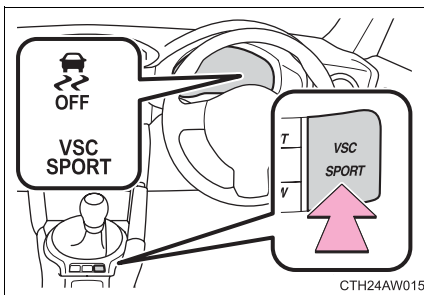
## VSC (VDC) SPORT モード

運転者が望むさまざまな運転を可能にするため2種類の制御モードを搭載し、VSC (VDC) SPORTモードスイッチによって制御モードを選択することができます。

通常はノーマルモードで安心してスムーズに走ることができます。

スイッチを押すと、VSC (VDC) SPORTモードに切りかわります。

VSC (VDC) や TRC などの制御特性を調整することで、運転者のイメージにより近い運動性能を可能としながら、安心感を高いレベルで得ることができます。



### VSC (VDC) SPORT モード／ノーマルモード

VSC (VDC) SPORT モードにすると、VSC (VDC) SPORT 表示灯と VSC (VDC) OFF 表示灯が点灯します。

### 知識

#### ■ TRC と VSC (VDC) を停止するには

TRC と VSC (VDC) を停止するには停車時に VSC (VDC) OFF スイッチを押し 3 秒以上保持してください。

TRC OFF 表示灯と VSC (VDC) OFF 表示灯が点灯します。

もう一度スイッチを押すと、システム作動可能状態にもどります。



### ■ ABS・ブレーキアシスト・TRC・VSC (VDC) の作動音と振動

- エンジン始動時や発進直後、ブレーキペダルをくり返し踏んだときに、エンジンルームから作動音が聞こえることがあります。異常ではありません。
- 上記のシステムが作動すると、次のような現象が発生することがありますが、異常ではありません。
  - ・ 車体やハンドルに振動を感じる
  - ・ 車両停止後もモーター音が聞こえる
  - ・ ABS の作動時に、ブレーキペダルが小刻みに動く
  - ・ ABS の作動終了後、ブレーキペダルが少し奥に入る

### ■ 電動パワーステアリングモーターの作動音

ハンドル操作を行ったとき、モーターの音（“ウィーン” という音）が聞こえることがあります。異常ではありません。

### ■ TRC や VSC (VDC) の自動復帰について

TRC や VSC (VDC) を作動停止にしたあと、以下のときはシステム作動可能状態に戻ります。

- キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外：エンジンスイッチを“LOCK”にしたとき
- キーレスアクセス&プッシュスタート装着車：プッシュエンジンスイッチをOFFにしたとき
- (TRC のみを作動停止にしている場合) 車速が 50km/h をこえたとき  
但し、TRC と VSC (VDC) の作動を停止している場合は、車速による自動復帰はありません。

### ■ 電動パワーステアリングの効果下がるとき

停車中か極低速走行中に長時間ハンドルをまわし続けると、電動パワーステアリングシステムのオーバーヒートを避けるため、電動パワーステアリングの効果が下がりハンドルが重く感じられるようになります。その場合は、ハンドル操作を控えるか、停車し、エンジンを停止してください。しばらくするともとの状態にもどります。

### ■ VSC (VDC) SPORT モードの自動解除

#### キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外

VSC (VDC) SPORT モードを選択して走行後エンジンスイッチを“LOCK”にすると、自動でノーマルモードにもどります。

#### キーレスアクセス&プッシュスタート装着車

VSC (VDC) SPORT モードを選択して走行後プッシュエンジンスイッチをOFFにすると、自動でノーマルモードにもどります。

### ▲ 警告

#### ■ ABS の効果を発揮できないとき

- タイヤのグリップ性能の限界をこえたとき(雪に覆われた路面を過剰に摩耗したタイヤで走行するときなど)

- 雨でぬれた路面や、マンホールのフタなどすべりやすい路面での高速走行時に、ハイドロプレーニング現象\*が発生したとき

\*水のたまった道路を高速で走行すると、タイヤと路面のあいだに水が入り込み、タイヤが路面から浮いてしまい、ハンドルやブレーキが効かなくなる現象。

#### ■ ABS が作動することで、制動距離が通常よりも長くなるとき

ABS は制動距離を短くする装置ではありません。以下の状況では、常に速度を控えめにし、前車と安全な車間距離をとってください。

- 泥・砂利の道路や積雪路を走行しているとき

- タイヤチェーンを装着しているとき

- 道路のつなぎ目など、段差をこえたとき

- 凹凸のある路面や石だたみなどの悪路を走行しているとき

#### ■ TRC の効果を発揮できないとき

すべりやすい路面では、TRC が作動していても、車両の方向安定性や駆動力が得られないことがあります。車両の方向安定性や駆動力を失うような状況では、とくに慎重に運転してください。

**警告****■ スリップ表示灯が点滅しているときは**

VSC (VDC) が作動中であることを知らせています。常に安全運転を心がけてください。無謀な運転は思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。表示灯が点滅したらとくに慎重に運転してください。

**■ TRC や VSC (VDC) を OFF にするときは**

TRC や VSC (VDC) は駆動力や車両の方向安定性を確保しようとするシステムです。

そのため、必要なとき以外は TRC・VSC (VDC) を作動停止状態にしないでください。TRC や VSC (VDC) を作動停止状態にしたときは、路面状況に応じた速度で、とくに慎重な運転を心がけてください。

**■ タイヤまたはホイールを交換するときは**

4 輪とも指定されたサイズで、同じメーカー・ブランド・トレッドパターン（溝模様）のタイヤを使用し、推奨された空気圧にしてください。（→P. 353）  
異なったタイヤを装着すると、ABS・VSC (VDC)・TRC が正常に作動しません。  
タイヤ・またはホイールを交換するときは、スバル販売店に相談してください。

**■ タイヤとサスペンションの取り扱い**

問題があるタイヤを使用したり、サスペンションを改造したりすると、運転を補助するシステムに悪影響をおよぼし、システムの故障につながるおそれがあります。

## 荷物を積むときの注意

安全で快適なドライブをするために、荷物を積むときは次のことをお守りください。

- できるだけ荷物はトランクに積む
- 荷物が安全な位置に置かれているか確認する
- 走行中のバランスを維持するために重さが偏らないように積む
- 燃費が悪化しないようにするために、不要な荷物は積まないようにする

### 警告

#### ■ 積んではいけないもの

次のようなものを積むと引火するおそれがあり危険です。

- 燃料がはいった容器
- スプレー缶

 **警告****■ 荷物を積むときは**

次の警告をお守りください。お守りいただかないと思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- できるだけ荷物はトランクに積んでください。
- 次の場所には荷物を積まないでください。  
お守りいただかないと、クラッチペダル・ブレーキペダル・アクセルペダルを正しく操作できなかったり、荷物が視界をさえぎったり、荷物が乗員に衝突したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
  - ・ 運転席足元
  - ・ 助手席やリヤ席（荷物を積み重ねる場合）
  - ・ パッケージトレイ
  - ・ インストルメントパネル
- 室内に積んだ荷物はすべてしっかりと安定させてください。  
安定していないと、急ブレーキや事故の際に投げ出され、乗員を傷付けるおそれがあります。
- 後席のシート背当てを折りたたんで荷物を積むときは、荷物を積み重ねないでください。  
急ブレーキや事故の際に、投げ出され、乗員を傷付けるおそれがあります。
- 後席のシート背当てを折りたたんで、寸法が長い荷物を積むときは、できるだけ前席シート背当ての真うしろには積まないでください。
- トランクに人を乗せないでください。乗員用には設計されていません。乗員は、適切にシートベルトを着用させ、座席に座らせてください。  
お守りいただかないと、急ブレーキや衝突の際に、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



■ **荷物の重量・荷重のかけ方について**

- 荷物を積み過ぎないでください。
- 荷重を不均等にかけないようにしてください。

これはタイヤに負担をかけるだけでなく、ハンドル操作性やブレーキ制御の低下により思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### 寒冷時の運転

寒冷時に備えて、準備や点検など正しく処置していただいたうえで適切に運転してください。

#### ■ 冬の前の準備

- 次のものはそれぞれ外気温に適したものをお使いください。
  - ・ エンジンオイル
  - ・ ウォッシャー液
- バッテリーの点検を受けてください。
- 冬用タイヤ（スタッドレスタイヤ）（4輪）やタイヤチェーン（後部タイヤ用）を使用してください。

4輪とも必ず、指定サイズ・同一サイズ・同一メーカー・同一銘柄および同一トレッドパターン（溝模様）のタイヤを装着し、タイヤチェーンはタイヤサイズに合ったものを使用してください。（タイヤについて →P. 256）

#### ■ 運転する前に

状況に応じて次のことを行ってください。

- ドアやフロントワイパーが凍結したときは無理に開けたり動かしたりせず、ぬるま湯をかけるなどして氷を溶かし、すぐに水分を十分にふき取ってください。
- フロントウィンドウガラス前の外気取り入れ口に雪が積もっているときは、エアコンのファンを正常に作動させるために、雪を取り除いてください。
- 外装ランプや車両の屋根に雪や氷が付いているときは、取り除いてください。
- 雪道を走行したり、吹雪の中で駐車したときは、足まわりに雪や氷が凍結し、ハンドルの切れやブレーキの効きが悪くなる可能性があります。付着している雪や氷を取り除いてください。
- 乗車する前に靴底についた雪をよく落としてください。

- ドアガラスが凍結した状態でドア開閉を行うと、安全装置が作動し、ドア連動ガラス開閉機能が正常に作動しなくなる場合があります。その場合は、氷を溶かした後に、以下の作業を行ってください。

**手順 1** ドアガラスを半分程度の位置まで下げる

**手順 2** パワーウィンドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続け、ドアガラスが閉まったあとも、スイッチを1秒以上引き続けるガラス位置の再設定が行われ、安全装置作動状態が解除されます。

### ■ 運転するときは

ゆっくりスタートし、車間距離を十分にとって控えめな速度で走行してください。

### ■ 駐車するときは

駐車ブレーキをかけると、ブレーキ装置が凍結して解除できなくなるおそれがあります。駐車ブレーキはかけずに、オートマチック車はセレクトレバーをP、マニュアル車はチェンジレバーを下り坂ではR、上り坂では1速に入れて駐車し、輪止め<sup>※</sup>をしてください。

<sup>※</sup>輪止めは車載されていませんので必要に応じて準備しておいてください。



## 知識

### ■ タイヤチェーンについて

取り付け・取りはずし・取り扱い方法については次の指示に従ってください。

- 安全に作業できる場所で行う
- 後 2 輪に取り付ける
- タイヤチェーンに付属の取扱説明書に従う
- 取り付け後、約 100 m 走行したら締め直しを行う

### ■ 寒冷地用フロントワイパーブレードについて

- 降雪期に使用する寒冷地用フロントワイパーブレードは、雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムで覆ってあります。スバル販売店で各車指定のブレードをお求めください。
- 高速走行時は、通常のフロントワイパーブレードよりガラスがふき取りにくくなる場合があります。その場合には速度を落としてください。

### ■ 燃料タンク内の水分を除去するときは

スバル純正水分除去剤のご使用をおすすめします。

## 警告

### ■ 冬用タイヤ（スタッドレスタイヤ）装着時の警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、車両のコントロールが不能となり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 指定サイズ・同一サイズ・同一メーカー・同一銘柄および同一トレッドパターン（溝模様）のタイヤを使用する
- 空気圧を推奨値に調整する
- 装着する冬用タイヤ（スタッドレスタイヤ）の最高許容速度や制限速度をこえる速度で走行しない
- 冬用タイヤ（スタッドレスタイヤ）を装着する際は、必ず 4 輪とも装着する

 **警告**

■ **タイヤチェーン装着時の警告**


次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、安全に車を運転することができずに、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 装着したチェーンに定められた制限速度、もしくは 30 km/h のどちらか低いほうをこえる速度で走行しない
- 路面の凹凸や穴を避ける
- 急加速、急ハンドル、急ブレーキやシフト操作による急激なエンジンブレーキの使用は避ける
- カーブの入り口手前で十分減速して車のコントロールを失うのを防ぐ

■ **駐車時の警告**

駐車ブレーキをかけずに駐車するときは、必ず輪止めをしてください。輪止めをししないと、車が動き思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 **注意**

■ **タイヤチェーンの使用について**

スバル純正 BRZ 用タイヤチェーンのご使用をおすすめします。

スバル純正品以外のタイヤチェーンの中には、使用すると、車体にあたり、走行のさまたげとなるおそれがあるものもあります。

詳しくはスバル販売店にご相談ください。

■ **フロントウィンドウガラスに付いた氷を除去するときは**

たたいて割ったり、熱湯をかけないでください。

ウィンドウガラスが割れるおそれがあります。